

令和7年度KPI事業計画資料

大洲市観光まちづくり戦略会議

目次

- ①観光危機管理計画（マニュアル）策定
- ②地域住民等への周知・報告強化
- ③分野・対象エリア拡大調査
- ④オーバーツーリズム対策
- ⑤2次交通の検討
- ⑥第3期ビジョン策定に係る課題・現状把握

①観光危機管理計画（マニュアル）策定

目的

- ・ 当市を来訪するインバウンド観光客の急増により、大規模災害時におけるインバウンド観光客の避難誘導が必要となってきたる。

内容

- ・ 発生の予期ができない地震、特に南海トラフ地震を想定し、まずは観光客の宿泊者が多い肱南地区を対象に市・DMO等連携し策定。

②住民等への周知・報告強化

目的

- ・ 取組み内容を地域住民等へ周知・報告することは、住民の主体的な参加を促す契機となり、地域全体の合意形成を図りながら、持続可能なまちづくりを実現する。

内容

- ・ 本会での報告内容をHPで公表する。
- ・ 毎年肱南地区の該当する区長への対面あいさつ（顔合わせ）の機会を創出する。
- ・ DMOが所在する肱南地区の回覧板に毎月の事業内容等を配布し、周知報告を行う。

③分野・対象エリア拡大調査

目的

- ・観光の恩恵を他エリア・他地域に拡大するために対象エリアを拡大することを目的とする

内容

- ・分野の異なる事業者ヒアリングを行い、DMOとの連携を模索する。
- ・今年度は肱川地区を対象とした肱川活性化事業により、あらたなコンテンツの掘り起こしを行う。

④オーバーツーリズム対策

目的

- ・ 臥龍山莊では観光施設の受入能力を超える入込客数の影響のため、混雑時には施設の魅力をゆっくり観覧することができず、また施設の損傷が生じている状況。

内容

- ・ 観光施設（臥龍山莊）の高付加価値化による入館料を見直す等の対策を講じ観光客の満足度を維持しつつ、観光資源への負荷を軽減する持続可能な観光のあり方を追求する。

⑤ 2 次交通の検討

目的

- ・ JR伊予大洲駅から各エリアへの二次交通（バス、タクシー等）の接続が十分では無く、富裕層向けのアクセス強化を目的に観光導線・アクセスの確保が必要となっている。

内容

- （１） JR伊予大洲駅から各エリアを結ぶ観光導線・アクセスを確保するための二次交通対策をJR四国、バス会社等を含め検討し協力体制を構築する。
- （２） 新たな交通手段を模索し、新モビリティ導入を促進する。ヘリコプターを活用した交通対策の検討及び愛媛県と共同で実施する空飛ぶクルマ実証飛行を行い、事業者の機運を醸成する。

⑥第3期ビジョン策定に係る課題・現状把握

目的

- ・令和9年度に、第3期大洲市観光まちづくり戦略ビジョンを策定するため、これまでの成果や他エリアへの展開などの課題について整理し、今後の実施すべき施策や財源確保の調査・研究をする必要がある。

内容

- ・これまでの成果・KPIを整理し、公表
- ・DMO以外に宿泊事業者や他エリアの事業者等へのヒアリングを実施し、課題を把握
- ・中・長期的にあるべき姿をDMOと協議して検討
- ・課題に対する施策候補を作成し、国・県等の充当可能な財源を調査
- ・先述の調査・結果を戦略会議で共有し、令和8年度のビジョン策定の基礎資料に位置付け